



【同友会3つの目的】
良い会社をつくろう
良い経営者になろう
良い経営環境をつくろう

東広島支部報

No157

令和元年11月

編集・発行

広島県中小企業家同友会
東広島支部広報委員会

委員長 松田 寛

ええしこう東広島

good like play!



青年部



【スローガン】 会社を良くするためには、社長が変わろう！！

～行動と実践、恥をかくことから～



雇用を通じて会社・地域を元気に

報告者 株式会社文田シタケ

代表取締役 文田 天

7月19日文化ホールからにて7月オープン例会が開かれました。会場の関係で定員40名締切ましたが、あつという間に定員に達した例会でした。今回の例会は豊田郡大崎上島町でシタケの製造販売をされている株式会社フルーツセンター文田天社長に体験報告をして頂きました。文田社長は同友会の会員ではありません。今回は女性会員から文田社長の人柄・事業内容・地域の活性化について是非話が聞きたいと強い思いがあり、「雇用を通じて会社・地域を元気に」というテーマに女性会員の企画・運営のもと報告をしていただくことになりました。

文田社長は2代目になります。入社前は関西で仕事をされていたそうです。父である当時の社長の体調悪化で、大崎町に帰郷し会社を手伝われることになりました。当時、大崎上島は造船の需要が激減し、島で働く場所がなくなっていました。帰郷されたときは、同じ年代の若い方が島を離れさびしい時間を過ごされたそうです。当時は前社長がキウイ栽培をメインで栽培、販売され仕事も順調だったそうですが、従業員も少なく大変な激務だったそうです。段々と同業他社もキウイ栽培を始め、業績がどんどん悪化していったそうです。そんな時、島の人を積極的に正社員として雇い会社と島を元気にできないか。定年も設けず、働く場をつくれぬかとの思いで、1年中栽培ができるシタケ栽培に目を付けられます。社長を交代され試行錯誤されながらシタケ栽培に徐々に切り替えていけます。最初はどこにでも売っているシタケでしたが、他社との差別化を図る為、収穫量を減らしてでも、手間と時間をかけて特徴のある肉厚シタケができました。そうしてできたシタケは広島県以外にも、名古屋や関西に流通する人気商品となりました。従業員も徐々に増やされ現在では、従業員63人のうち、43人が女性です。みなさんの主な仕事は収穫、栽培、そしてパック詰め。それらを行うほぼ全員がなんと正社員なんです。そして定年がないため、70歳以上の社員もおられます。さらに従業員のほぼ全員が島内在住です。女性たちに生きがい生まれ、そんな女性たちが会社・島を元気にしています。





10月9日第33回経営フォーラム2019がリーガロイヤルホテルで開催されました。
テーマは 新時代の幕開け ～わくわくドキドキ 人を幸せにする企業づくり～



基調講演は、三重県「宮崎 本店」の宮崎会長にお越し頂き、「伝統産業を生き抜く、情勢認識と経営戦略」と題して講演を頂きました。経営者でなくては決断できない事、社員を巻き込んで決めて行くものなど、自身の経験に基づいて、楽しく解り易くお話をして頂きました。

東広島から(有)フラワーショップはなよし の原さゆりさんが事業継承をテーマに分科会で報告されました。ご両親が起業された会社に入社するきっかけから、事業を引き継ぐ葛藤、現在の取り組み、今後の展望を話されました。

ご本人、人前で話す事は大変苦手だそうですが、しっかりと落ち着いてどうと報告をされました。何度もプレを繰り返し、大変だったと思います。入会して1年程ですが、たくさんのお話を吸収し事業に生かされています。同友会の例会のあとはいつも、会社に行くのが楽しみだそうです。聞いたことを社内で話をされるそうです。前向きな姿勢にこちらも勇気と元気を頂きます。報告ご苦労さまでした。

その後、懇親会が開かれました。懇親会では、(有)サンセイ工業の三宅社長が入会30年目という事で、表彰されました。3名の方が表彰を受け、三宅社長が代表であいさつをされました。東広島支部発足から支部長を14年勤められた思いなど、今日までの思いを語られました。これからも頑張ってください。



青年部会



青年部8月例会

8月10日、11日の2日間、豊栄にある清武地域センターで泊まり込みの合宿例会を行いました。広島ピーエスの宮原氏の報告では、経営指針ワンシートに取り組むことになったきっかけや取り組んでからの会社の進化をゲーム風にアレンジして話をしてもらい、それを聞くことでワンシートの成果を具体的にイメージできたのではないかと思います。同友会活動で得た学びを会社に活かし、会社を年々進化させている宮原氏の体現者としての話は、非常に説得力がありました。

報告が終わってからは、自社の課題をテーマにグループ討論を行いました。

例会の最後にはちょっとしたサプライズとして、今年社長に就任した(株)ノア・コーポレーションの増見社長と(株)ネクサスの小濱社長の2名にお祝いをしました。こういうところも青年部らしさが表れていると思います。例会後は屋外でバーベキューをしながら、悩み事を相談したり同友会の話をしたり、家族の話をしたりとそれぞれが自由に交流していました。日付が変わる頃には室内に入りましたが、夜通し話をすることができました。

長時間の例会にはなりましたが、それでもあつという間に時間が過ぎ、もっと言えば時間が足りないぐらい話が尽きない集団が青年部の良さだと改めて感じられた例会でした。

文：(有)東広島内装センター 野村 滋

納涼例会

8月31日尾道で納涼例会が行われました。18名くらいの参加だったと思います。このような企画はあまり今まではありませんでしたが、企画委員会が昨年から「ゆる企画」も必要ではないかということで、懇親会が開かれています。ボーリング大会に続き2回目の懇親会になります。

今回は、同友会の会員の方で尾道の飲食店経営をされている、いっとく様が納涼船を所有して尾道隧道を走りながら、料理をふるまっておられるということで、特別価格で船をだして頂けることになり実現しました。日頃、あまり出席されない方・会員以外の経営者の方も参加され、天候にもめぐまれ夕日が沈む尾道隧道をまわり、おいしい料理とお酒で和気あいあいとした私服（至福）の時間が過ごせました。みなさんの最近の近況なども聞けました。また、楽しい企画期待しています。

